



学校だより

7月号



令和3年6月30日
横浜市立能見台南小学校

← 学校ホームページ
QRコード

授業力向上の取組

校長 榊原 一紀

6月1日の南小オリンピックでは、応援団の児童が応援合戦だけでなく様々な競技場面で応援している姿や、一人ひとりが力いっぱい競技に参加している様子にすばらしさを感じました。真剣に取り組む力を、今後の学習や行事など様々な場面で生かしてほしいと感じています。

明日、7月1日は重点研究の授業研究会が行われます。重点研究とは、学校が一年かけて取り組む教科やテーマを決めて、よりよい授業方法を学んでいく取組です。今年度は算数科に焦点を当てて、テーマを「論理的に考える子どもの育成」として取り組んでいます。本校では、授業を通じた研究会を年間3回行っています。代表の先生が授業を行い、授業終了後にその授業について参観した先生と一緒に改善点を話し合ったり、外部から招いた講師の先生に指導方法を学んだりします。授業をする先生は、それまでに様々な準備をしてよりよい授業を目指します。

授業の準備は、旅行をするときに立てる計画と似ていると思っています。旅行先を決めて、雑誌やインターネット等を使い、交通手段や観光先を決めていく。時間を考えながら、なるべくたくさん観光したいと考え、計画を立てていくけど、詰め込みすぎて難しいのではと考えてあきらめる。実際に旅行が始まると思い通りにいかないことも多々ある。でも、準備をしていることで、知っている知識を生かして解決したり、その場でより良いものを見つけて、計画を変えたりすることもできます。何よりも準備がしっかりしていると、どんな場面でも落ち着いて行動できます。

研究会の話に戻しますと、学力向上は重要な教育課題です。そのためには魅力ある授業づくりが欠かせません。児童が興味・関心を引くような学習問題や学びのプロセスを考えたり、投げかける質問や黒板に書く内容、時間配分を決めたりするなど様々な準備が大切です。しっかりと準備することで、魅力のある授業ができると考えます。よりよい授業を学び、日々の授業に生かしていく授業研究会は、学力向上に向けた取組の一つです。

毎年、この時期になると夏休みの家族旅行の計画を立てます。昨年同様、今年は感染防止のためステイホームなので計画はしていないのですが、旅行が好きな私にとってはさみしい限りです。